



成果指標				
成果指標	給水装置点検サービス実績数量のみを記載する。			
指標設定の考え方	本事業の活動内容は広報や利用者サービス等多岐にわたり、給水装置点検サービスを活動の指標とするが、要望に基づく事業実施であるため、事前に目標値を設定することは困難である。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0	0	0	0
実績	50	63	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>水道は日々の生活はもとより経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインの一つであります。市においては、水の大切さを認識していただくため、全国で実施されます水道週間にあわせて、一人暮らしの高齢者を対象に給水装置無料巡回点検を実施している。また、啓発活動としては、ホームページ・広報誌・チラシ等で啓蒙・啓発活動を行っており、より多くの市民に関心を持っていただくよう周知をしているところである。今後の課題として、イベントや標語・ポスター等など、いつまでも記憶の中に残るようなアイデアを出しあい、市民全体にアピールできる活動が必要と思われる。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>安全で良質な水が供給できる水道の整備促進、また地震等災害に強い水道づくりの推進に努めることは当然の責務であると考え。そこで、このことを広く市民に理解・協力・認識を得るため、全国一斉に実施される「水道週間」に合わせ周知徹底を図るものであり、本市においても、「給水装置巡回点検サービス」を実施し、水の大切さや生活基盤を確保する上において水道事業が果たす役割などをアピールした。しかし、期待している程の成果が現れていないことから、今後においては、広報活動のあり方や関心を得るようなイベントの開催等検討を行う必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	水源情報など各種の情報提供を充実し、水道事業に対し市民の理解を促す必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。